

第 5 学年
国語科

単元名 調べたことをまとめ、説明会を開こう

教材名 「和の文化を受けつぐ」 (東京書籍5年)

「天気を予想する」 (光村図書5年)

単元の目標

- 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。
(知識及び技能 (2)ーイ)
- 「前単元で学習した説明文教材」(※以下「(説明文)」と表記)をもとに、調べるテーマを決め、どんなことを調べるのか、それまでの知識や聞き手のことを考えながら検討することができる。
(A話すこと・聞くこと ア)
- 自分たちの考えが伝わるように、調べたことを資料にまとめ、話し方などの表現を工夫することができる。
(A話すこと・聞くこと ウ) (思考力、判断力、表現力等)
- 自分の調べたテーマについて、資料を活用しながら、考えが伝わるように説明をしようとしている。
(学びに向かう力、人間性)

指導のポイント

- 互いの意見を出し合いながら、それをつなげてグループで考えを作っていくことを共通理解させた上で学習を進めていく。
- 説明会に向けて、調べるテーマを決める時に、知っていることを整理し、調べる内容をはっきりさせてから調べ始めさせるようにする。
- 集めた情報を整理し、考えが伝わるような資料を作成する活動において、聞き手の立場の考えを想像しながら、より適切な資料ができるように話し合う。この際、聞き手に与える資料の効果をあわせて考えさせる。
- 主観的に資料を見たり説明を考えたりするのではなく、聞き手を意識しながら客観的に考えを形成させるようにする。
- 作成した資料を使って説明の練習をする活動において、互いに聞き合い、より考えが伝わる表現を探っていく。この際、「発表の内容を知らない人が発表を聞いてどのように感じるか、どう考えるか」という視点を大切にさせる。
- 説明会について、それぞれのグループから一人ずつが集まって説明会グループを作り、個人個人が説明をする機会を設けるようにするなど、説明会の実施の仕方を工夫する。

単元(題材)の指導計画

	児童の学習活動	指導上の留意点
1	説明会を見通して、「(説明文)」を読む。	<ul style="list-style-type: none"> • 学習の見通しをもたせるようにする。 • この後の説明会で自分が説明する上で参考にできるように、筆者の説明の仕方の工夫について意識しながら学習を進めるようにする。
2	グループで調べるテーマを決める。	<ul style="list-style-type: none"> • 「(説明文)」を読んだこと、そしてこれまで学習して得た知識を基に、調べるテーマを決める。 • グループで話し合いながら、聞き手が知りたい内容や、新しい発見があるような内容になっているかについて考えるようにする。

3	調べる計画を立てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマが決まったら、テーマについてすでに分かっていることや知っていることを、グループで話し合いながら整理する。 ・分からないことや知らないこと、聞き手に説明をした方が良さそうなことを調べるという目的をはっきりさせて、活動の計画を立てるようする。
4	情報を集める。	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を集める際には、説明に必要な情報かどうか互いに意識しながら集めるようにする。 ・集めた情報はノートやメモにまとめるようにする。
5	情報を整理して説明する内容を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報について、初めに決めたテーマや聞き手の立場から考えるとどれがふさわしいか、などの視点で整理させる。 ・情報と情報を結び付けるなどして、複数の情報から新たな考えが考えられないか考えさせる。
6	説明の構成と必要な資料を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの考えを説明する上で、説明の順序や構成を考える。 ・説明を分かりやすくするために、効果的な資料を作成するようにする。 ・自分たちの考えが伝わるように話し方や内容を考える。
7	説明の練習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手がどのように聞くのかを考えながら、互いの発表について聞き合い、話し合うようにする。
8	説明会を開く。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに説明会を行う。 ・全ての児童が話し、聞くことができるような説明会の形態をとるようにする。

展開例（本時5 / 8）

本時の目標		○グループで集めた情報を整理し、相手に考えが伝わるように、資料や説明内容を検討することができる。
導入	児童の学習活動	指導上の留意点
	○本時の学習課題について知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報を整理するための視点（グループのテーマに沿っているか。聞き手が知りたい内容か。聞き手に新しい発見があるか。など）を示し、話し合いの目的をはっきりさせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">集めた情報を整理し、考えが伝わる資料や内容を話し合おう。</div>		
展開	○グループでそれぞれが集めた情報を出し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手の立場から情報の内容を考えるように助言する。
	○出し合った情報を検討し、自分たちの考えをまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、「(説明文)」での筆者の説明の仕方を振り返るようにさせる。 ・情報の整理の仕方や、情報と情報との関係付けの仕方について助言する。 ・情報と情報の共通点を考えたり、相違点を考えたりするよう助言する。 ・複数の情報から新たな考えを導き出すという視点をもつよう助言する。 ・互いに客観的に情報を整理し、まとめていくように助言する。

	<p>○考えを伝えるために、どのような資料を提示すればよいか、どのような説明をすればよいかを話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの考えが伝わるように、効果的な資料を考えたり、効果的な説明を考えたりさせる。その際に、聞き手の立場を考え、聞き手がどう考えるかという視点をはっきりもちながら話し合いを進めていくようにさせる。
<p>④</p>	<p>○グループの考えを確認し、これからの説明の見通しを立てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・次時に、説明の構成や資料を作成していくことを確認する。 ・それまでにしておくことを分担するように助言する。